

講義名	ファイナンシャル・プランニング					授業形態	
担当教員	小笠原 宏	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限				
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	ACC263

主題と概要

個人のキャリア形成、人生設計、生活設計においても、収入と支出のバランスだけでなく、長期的な目標をもった資産形成も、豊かな中身の濃い人生を送るためには有効である。おカネの心配ほど、辛く切ないものはない。社会保障の制度が保証するのは、最低限の部分であり、決して不満を感じないレベルのものではない。そういった現実を自らの長期的な努力をもって補うことが重要である。現在の生活レベルや満足度を高い維持しつつ、将来にも備えるという総合しかなない課題にどう立ち向かっていくかを現実的に、おカネに関する知識を総合的に習得し、活用実践していくことを目指す。昨今特に話題となる、年金制度の課題と問題が昨今話題となっているが、実感のない世代にとっても非常に重要なトピックである。人生設計と長寿社会の中でよりよく人生をいきるための財務計画について手法なども講義で説明する。

到達目標

具体的かつ実現可能な資産形成の仕方を、キャリアプラン、人生設計と合わせて考えられるようになる。
金融機関との付き合い方、使い方などに関しての心構えや知識が身につく。
リスク概念と投資手法の理解を実践的に考える力がつく。

提出課題

毎回講義の要点、学んだ事、考えたことなどを簡単にまとめて報告課題とする。これは加点点評価ポイントとして活用していく予定。講義内で詳説する。積極的に能動的に、お金のマネジメントに取り組み議論の醸成度合いを測るような双方向やり取りを考えている。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

有効かつ生産的な質問や疑問、全体と共有するの良いと思しきコメントなどは、講義内で補足解説していく。
個別レベルで対応すべきものは、個別にメールなどで返信する。

評価の基準

毎回の講義における講義内容要約及び自らの学習点などを出席票裏面のコメント欄にて記入。追加補足分などはメールにて報告を受ける。（加点点）。出欠は基本的に出席票（毎回）にて確認する。所定回数以上（通常は80％）ないし、期末試験は受験できないと説明している。（個別事情は最終集計時に考慮）。ビデオ録画講義を配信する(規定公開)なので、適宜復習として（ノート作成など）合わせて活用して欲しい。
基本的に期末試験。あるいは最終レポートを課す。試験実施（レポートの場合あり）の場合は50%の配点。上記各回課題が25%、出席点25%（15回全出席、オンデマンド講義と併用可）で総合的に評価予定。
講義内でも適宜説明する。

履修にあたっての注意・助言他

不祈から日経新聞、一般新聞のビジネス関連、金融関連の記事に目を通して欲しい。最低限、大きな字のタイトル部分だけでもいいので、音読可能な状態になっているのか、ボットイシューになっているのかに注意を払って欲しい。講義内で質問受け付けし、積極的に取り上げる予定でもある。新しい不明な用語などは、今はネットで玉石混濁の情報があふれかえっているのをそれらを積極的に見てみる習慣を付けて欲しい。自己学習の習慣は非常に重要である。続けていくことに置いて何事に於いても大きな差がついてしまう行動、週間であることを理解すべきである。（投資関係、個人の財務計画に関する雑誌、新聞、ネットの記事などに興味を持ってほしい。）

教科書

・特定のものを使用しない。					

参考図書

その他

不祈から日経新聞、一般新聞のビジネス関連、金融関連の記事に目を通して欲しい。最低限、大きな字のタイトル部分だけでもいいので、音読可能な状態になっているのか、ボットイシューになっているのかに注意を払って欲しい。講義内で質問受け付けし、積極的に取り上げる予定でもある。

授業計画

- 講義で順番に取り上げるテーマとカテゴリなどは以下の通り。
- (1)講義概要と進め方。ファイナンシャル・プランニングとは何か。資産形成の必要性と手法
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (2)金融機関。金融市場とはどんなものか。[A]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (3)金融機関。金融市場とはどんなものか。[B]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (4)証券会社。証券市場などどんなものか。[A]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (5)証券会社。証券市場などどんなものか。[B]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (6)その他金融機関に何があるか。（リース、信託、保険など）
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (7)ファイナンス分野における統計。数学の基本的活用法[A]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (8)ファイナンス分野における統計。数学の応用活用法[B]
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (9)分散投資(ポートフォリオ理論、ポートフォリオインシュランスについて)[A]導入基礎
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (10)分散投資(ポートフォリオ理論、ポートフォリオインシュランスについて)[B]実践応用予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (11)分散投資(ポートフォリオ理論、ポートフォリオインシュランスなど)まとめ総括
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (12)金融新商品。派生商品などの解説。
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (13)高度複雑な複合金融商品の活用法など
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- (14)FX取引や暗号資産(仮想通貨)など裏話
予習：シラバスならびにキャンパスクロス（講義連絡）に事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
復習：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（Aし型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

個人として、将来の生活安定のための資産形成の進め方を学習し、総合的な長期計画などを具体的にたてるための手法や考え方を学ぶ。多種多様な金融商品や多様な金融機関とのつきあい方や活用の仕方が考えられる。
会計コースにおいて簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析が身につく継続的学習法などが実践できるようにする。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

youtubeを通じて、講義内容の限定公開(音声、講義録画)する予定なので、復習に活用するのと、問題意識の拡張に役立てて欲しい。その上で質問やコメントなどメールなどにてどんどん発信して欲しい。内容によっては、講義内あるいはブログにて返信対応は行っていく。毎回、検査の撮影ファイルを講義後送付予定(講義連絡など)ブログの活用なども考慮中。

実務経験の有無及び活用

外観勤務、シンクタンク勤務経験あり、他大学への出張経験もあり、留学経験(米国)あり、実際に資産運用(株式、不動産その他)を行っているので経験豊富。机上の空論をならべたてて知識を開帳するような講義や、経験だけをかたるような講義をするつもりはない。最終選択を行うのは投資家本人であるという原則が大事である。

備考
